

師を失いたる吾々

伊藤左千夫

青空文庫

貴墨きぼく拝見つかまつり仕候あらた、新あらたに師を失いたる吾々が今日に処するの心得いかんとの御尋おたずね、御念入おんねんいりの御問同憾ごうかんの至いたりに候、それにつき野生も深く考慮を費したる際なれば、腹臆くぞえなく愚存陳ぐぞんちんじ申もうすべく候

正岡先生の御逝去が吾々のために悲哀の極みなることは申もうすまでもなく候えども、その実先生の御命が明治三十五年の九月まで長延び候はほとんど天たまものの賜とも申すべきほどにて、一年か一年半は全く人の予想よりも御長生ありしことと存じ候、しかるを先生御生存中に充分研究すべきことも、多くは怠慢に付し去り、先生の御命もはや長いことはないといいつつ、なおうかうかと千載逢あいがたき光陰をいたずらに空過くわかしながら、先生の御逝去を今更のごとく御驚きとは、はなはだ酷なる申もうしじょう 糸いとながらあまり感服致しがたく候、もちろん先生が十年御長生あり候とて偉人ならざる吾々は、もうこれで先生に捨てられても大丈夫安心じやと申すようなことは有間敷あるまじくと存候ぞんじ、いつになつても先生に逝かれた時は必ず狼ろう狽ばいして驚くことは知れて居ることに候、されば今日俄にわかに心細がつて狼狽ろうばいしたまう君を咎とがむるは少々無理かとも存候、驚もせず狼狽ろうばいもせず平気で、そして先生が晩年いかなる標準をもつて『日本』週報の歌を御選みありしかを、あえて考究して居るような風

もなく漫然歌を詠みつつあるというごとき、人があるならば吾々のもつとも輕侮けいぶすべきことと存じ候、貴兄のごときは大おおに先生御生前中の怠慢を悔い、今にして覺然眼がんざめ御奮勵との仰せ同感至極に存じ候、野生等とて先生御生前中決して勉強したとは申もうし難がたく顧かえりて追考すれば赤面のことのみ多く候、しかしそれは今更後悔致し候とて何の詮せんも無これなく之候え、貴兄と同様今後いかに処すべきかを定め、それによつて奮勵するのほかなく候、

何と申もうしても先生御存生中は、真先に松たいまつ明を振りつつ御進みありて、御同様に警戒し指導し、少しく遠ざかりたる時は高所にありて差招きくれ候ことゆえ、自然に先生に依頼するの念のみ強く、知らず知らず安心して暢氣のんきに不勉強致し候次第今更後悔先に立たざる恨うらみ有らみ之候、松明の光常とこしえに消えて寸前暗黒の感に打たれ停立黙考手探りして道をたずぬるといふようなる趣おもむきに候、うかと致し候わば元もと来た道へ戻るようなことなしとも極らずまことに何とも不安心の至りに候、

永遠のことは分り申さず候えども、差当り思おも就いたるは左の二ヶ条に候、これによつて将来の針路を定め、自働的松明を得度えたくと存じ候、他の指導に依頼して暢氣な行路をたどりし吾々、にわかちがいに自動的いもうしに道を求めねばならぬ境涯、なまけては居られ申さず候、自動的と自由行動とは違ちが申いもうし候

(一) 先生が数年に渡れる製作及び選評の跡に見て、前後を比較し進歩変化の様を充分に考量し、なかんずく就中晩年変化の跡は最も細心に研究して、先生が微細とする所をも探求せざるべからず、

(二) 美術文学に関する書籍はもちろん哲学宗教に渡り、大に古今おおいの書籍を読究せざるべからず、自ら松明を作る、必ずこの方法に拠らざるべからず、

一人にして製作と批評とをかねたる大偉人を師とせる吾々がいかに幸福なりしか、この偉人を失いたる吾々がただ悲嘆して止むべきか、落胆失望して止むべきか、大偉人の門下たる名を汚すようのことあらば何の面目あつて世に立たるべきか、僕不敏といえども貴兄の奮励わがに従い吾生のあらん限り事に従わんことを神かけて誓約いたすべく可致候、末文に今一語申添もうしそえたきは、以上の二ヶ条より辛じて松明を得て針路を探り候ともいかにして吾々の満足する批評者を得申えもうすべき、このことについては失望の嘆声を発するのほか何らの考もかんがえ浮び申さず、嗚呼ああ、吾々は常とこしえに批評者を得ることあたわざるか、貴兄の意願ねがわくは聞くことを得ん、妄言多罪

明治三十五年十月二十二日

〔『心の花』明治三十五年十一月一日〕

青空文庫情報

底本：「子規選集 第十二巻 子規の思い出」増進会出版社

2002（平成14）年11月5日初版第1刷発行

底本の親本：「子規全集 別巻二 回想の子規一」講談社

1975（昭和50）年9月18日第1刷発行

初出：「心の花 第五巻第十一號」大日本歌學會

1902（明治35）年11月1日発行

※底本は、物を数える際や地名などに用いる「ヶ」（区点番号5186）を、大振りにつくっています。

入力：高瀬竜一

校正：きりんの手紙

2019年8月30日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<https://www.aozora.gr.jp/>) で作ら

れました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

師を失いたる吾々

伊藤左千夫

2020年 7月18日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>